老人福祉を充実

第四保育所　六千七百万円で建設

〔民生費〕決算総額は、一億四千三十八万円です。

児童福祉関係では、乳幼児の増加から新たに第四保育所（向日小学北山）を建設費六千七百六万円で第一・第二・第三および委託児童を含めた保育所管理費として五千七十二万円を支出しました。また、児童の遊び場である児童公園の新設（五か所）・整備に百三十一万円をあてました。

児童手当制度が昭和四十五年十月一日から発足しましたが、その運営費として百三十五万円を支出しました。

老人福祉関係では、二百四万円をあて、六十五歳以上の寝たきり老人や八十歳以上の国保加入者のうち、老齢福祉年金受給資格者を対象とした老人医療と六十五歳以上の老人に対する老人健康診査を無料化したほか、ホームヘルパーの設置など、老人福祉を積極的に進めました。

また、社会福祉関係でも二百六十九万円をあて、福祉活動の充実と推進をはかりました。

（第四保育所を建設）

土地改良と農道を整備

〔農林水産業費〕決算総額は、二千八百七十万円です。

土地改良事業では、小畑線かんがい排水事業として、寺戸七ノ坪改修に四百九十三万円、鶏冠井山科川水路改修に二百七万円で、寺戸鶏冠井の老朽ため池改修に百八十五万円、農道では、森本小柳農道拡幅に二百六十万円など、あわせて千三百四万円を支出しました。

また、西向日たん水防除事業負担金として、六百五万円を支出しました。

商工関係では、四百九十三万円をあて、観光案内板の設置、商工の助成など、商工振興に努めました。

（小柳農道を整備）

特別会計

国民健康保険事業

歳入一億四千六百三十八万円、歳出一億二千二百六十八万円で、差引残額二千三百六十九万円となり、翌年度へ繰り越します。

歳入では、国民健康保険料五千四百十万円で、前年度と比べて二六・三パーセント、国庫支出金七千二十二万円で、一四・五八パーセントとそれぞれ増となっています。

歳出では、保険給付費一億千二百十七万円と全体の九一・四パーセントを占め、前年度と比べると、二一・三パーセントの増となっています。

被保険者一人当りの受診件数五・一〇件と前年度よりそれほど増加していません。また、一人当りの費用額では、一万千八百九円と前年度より約二千円ほど増加しています。

昭和四十五年度の国民健康保険の運営は、財政上黒字を示しましたが、今後の見通しとして、なお先ゆき楽観を許さない状態にあるわけです。

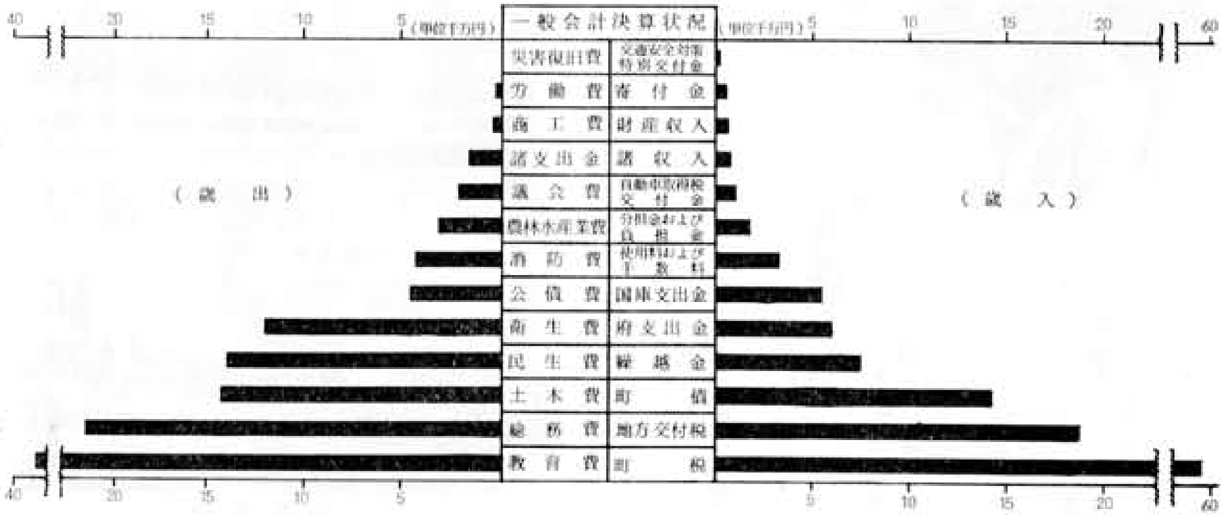
土地取得事業

歳入では二千十四万円、歳出では千九百九十九万円で、差引残額十五万円を翌年度に繰り越します。用地取得では、第四保育所、第四向陽小学校、福祉文化会館（仮称）、向日神社などのそれぞれの用地を先行取得しました。

消防自動車一台を増車

〔消防費〕決算総額は、四千七百十七万円です。

消防体制の強化をはかるため、水槽付き消防自動車一台を三百六十万円で購入し常備するとともに、消防水利整備五か年計画に基づく初年度として、防火水槽の新設、改修を三百五十一万円で行なうなど、消防施設の機能充実をはかりました。



予算総額は十二億四千九百万円

第三回定例町議会

中小企業振興融資制度を予算化

第三回向日町議会は、九月十日から二十五日までの会期で開かれました。この議会で、一般会計補正予算第三号特別会計国民健康保険事業第一号と土地取得事業第一号、また水道事業第一号の各補正予算が可決されました。

補正予算の中からおもなものをひろうと、つぎのとおりです。

＜一般会計＞（単位万円）

〔補正第三号〕補正予算額は、二千八百九十三万円で、予算総額は十二億四千九百九十九万円となりました。

歳出では、▽教育費―第三向陽小学校増築に伴う国庫負担金が交付されなかったため千二百万円の減額、追加分として、第三向陽小学校の管理費と第三向陽小学校の運動場整備に二百九十八万円など、千六十八万円の減額▽商工費―中小商工業者へ低利で資金を貸し出す、「中小企業振興融資制度」の発足資金として、融資預託金五百万円、利子補給金七十五万円、あわせて五百七十五万円を補正▽土木費―第四小学校と第五保育所（寺戸三ノ坪）の新設に伴う道路新設工事に百八十六万円、河川では、各区河川・排水路の改修、補修およびしゅんせつ工事に百万円、あわせて二百八十六万円の補正▽諸支出金―土地開発基金への積立金として二千三百四十一万円、などがおもなものです。

その他、農林水産業費では、農地整備事業として、上植野三ノ坪地内の農道改修に二百四十七万円などあわせて二百七十一万円、総務費に百四十八万円、民生費に百三十二万円などです。

また、歳入では、繰越金二千二百四十九万円、諸収入五百八十四万円などを追加し、国庫支出金七十二万円を減額。

＜特別会計国民健康保険事業＞

補正第一号は、療養給付国庫負担分の返還金百九十万円などあわせて二百八万円を繰越金で充当。この補正により、予算総額は、一億五千四百十四万円となった。

＜特別会計土地取得事業＞

第四小学校用地ほか四件の基金共用地取得公社費受用地の利息分二千三百四十二万円で、繰入金、繰越金で充当。この補正により、予算総額は、五千六百四十四万円となった。

＜水道事業＞

補正額は、建設改良費九十八万円で、これで建設改良費は一億八千六百六十四万円となった。

補正のうちわけは、第一浄水場の二号取水井のポンプなどの取り替え工事九十四万円など、九十八万円です。

消防力を強化

11メートル級消防車を常備

向日町消防本部では、消防力の強化をはかるため、このほど新しく屈折はしご付消防ポンプ自動車（スノーケル車、購入費九百三十五万円）を一台増車、常備しました。

この消防車（定員五名）は、リモートコントロール操作により数十秒で作業台の位置を移動することができます。また、地上11メートルの高さから放水できるとともに中高層建物の人命救助や消火活動ができます。

そのほか、高性能のポンプを装備し、塔上の作業台には二百キロの荷重（搭乗員三名）を積載し、形態が小さく狭い道路でも自由に行動ができます。

町で火災が起これば、消防機能を発揮して、火災活動に活躍することでしょう。

くらま寺へバスの旅

町の敬老会

元気に約300人が参加

町の敬老会を九月十七日行ないました。

午前九時向日町競輪場を、お年寄りの方や中山町長、町会議員ら町関係者を含めた約三百人が参加、バス六台に乗り、くらま寺へ下鴨神社に向け出発しました。

くらま寺では、参道の山道を元気に歩いて参拝する方やケーブルカーにのって参拝する方があり、いずれにしてもお年寄りにしては丈夫な足腰ぶりでした。

昼食後、下鴨神社に向け出発しました。

午後からあいにくの雨模様となりましたが、お年寄りの方たちは楽しい一日を過ごされました。

掲載していますな写真で、写っている方がありましたら、総務課広報係までご連絡ください。写真を差し上げます。

電話九三―一一一一番

（北野神社で）

郵便貯金へ加入のおすすめ

みなさんのおそばで、いつも豊かな暮らしのお手つだいをしている郵便貯金は、年々順調な増加を続け、その貯金総額は、八兆円を越える巨額に達しています。

この貯金は、国の財政投融資の一環として運用され、みなさんの暮らしに関係の深い住宅建設の促進、公害の防止、生活環境施設の整備、農林漁業や中小企業の近代化、文教施設の拡充、道路港湾、鉄道の建設など、社会資本の充実に大変役立っています。

豊かな暮らしをつくり、明るい社会を築いていく、財政投融資の大きな資金源である郵便貯金の働きが、一層重要になってきています。

このような性格からいって、郵便貯金は、みなさんの好適な貯蓄といってよいでしょう。郵便貯金の加入を、みなさんにぜひおすすめします。